

ICT を活用した授業のイメージをつくりましょう

教科 ・ 領域等	国語
授業タイトル・単元名等	古文の品詞分解をやってみよう
対 象 学 年	2年
実 施 場 所	LAN教室
I C T活用授業の内容	<p>授業のねらい コンピューターのワープロソフトを利用して、1年で学習した古典文法の確認と定着を図る。</p> <p>授業の流れ</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 校内 LAN を利用して課題の文書ファイル（古文）を生徒全員のコンピューターに配信する。 ② ワープロソフトの編集機能を利用して、動詞・形容詞・形容動詞・助動詞をそれぞれ別の色で塗り分ける作業をさせる。 ③ 生徒が回答した課題の文書ファイルを回収する。 ④ 課題の答え合わせと、解説を行う。 ⑤ 動詞・形容詞・形容動詞について、基本形（終止形）・活用の種類・活用形を書き込ませる。 ⑥ 生徒が回答した課題の文書ファイルを回収する。 ⑦ 課題の答え合わせと、解説を行う。 ⑧ 助動詞について、文法的意味・基本形（終止形）・活用形を書き込ませる。 ⑨ 生徒が回答した課題の文書ファイルを回収する。 ⑩ 課題の答え合わせと、解説を行う。 ⑪ 最終的にフロッピー等に保存させる。（保存は随時。） （全2時間の計画。） <p>I C T活用のねらいと授業での位置づけ</p> <p>〈I C T活用のねらい〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・従来プリントで行っていた授業をコンピューターを利用することによって、効率よく学習すること。 ・試行錯誤が簡単に何度もできるというコンピューターの特性を活かし、積極的に楽しく古典文法を復習すること。 ・「情報」の授業との関連を図ること。 <p>〈授業での位置づけ〉</p> <p>2年の古典の授業の導入として実施し、その後、本文読解の授業を展開していく。（文法の理解が読解の理解につながることを実感させる。）</p>
活用する ICT メディア	コンピューター・校内 LAN ・ワープロソフト・フロッピー等
活用するコンテンツ等	課題の文書ファイル